

福祉サービス第三者評価 評価結果報告書

株式会社サクセスアカデミー

にじいろ保育園洋光台

横浜市磯子区洋光台 3-33-10

【評価対象種別】

保育所

【使用評価項目】

横浜市版

●実施概要	P1
●総合評価	P2 ~ P3
●分類別評価結果	P4 ~P14
●利用者家族アンケート結果	P15~P23
●利用者本人調査結果	P24~P26
●事業者コメント	P27

2016年1月

評価実施機関：合同会社 評価市民・ネクスト



【評価実施概要】

事業所名	株式会社 サクセスアカデミー にじいろ保育園洋光台
事業所への報告書提出日	2016年2月24日 (評価に要した期間) 9か月
評価機関	合同会社 評価市民・ネクスト

●評価方法

1、自己評価 実施期間 ~2015年11月10日	<p>①領域Ⅰ・Ⅱは保育士と栄養士、領域Ⅲ～Ⅵの運営面は主任・育児支援担当・園長で記入した。</p> <p>②グループを5つに分け個人が記入したものを持ち寄り、各グループごとに一つにまとめた。</p> <p>③各グループで出されたものを主任が整理し、次に園長・主任で一つまとめ、職員会議で確認した。</p>
2、利用者家族アンケート調査 実施期間 2015年10月13日~10月27日	<p>① 全園児の保護者(63世帯)に対して、保育園側からアンケート用紙を手渡しで配布した。</p> <p>② 各保護者より、返信用封筒で、評価機関にあてて無記名で返送してもらった。</p>
3、訪問実地調査 実施日 第1日:2015年12月9日 第2日:2015年12月10日	<p>[第1日] 午前:保育観察。 昼食:園児と一緒に食べながら保育観察。 午後:育児支援担当保育士にヒアリング。書類調査。園長・主任・運営法人スーパーバイザー・保育アドバイザーにヒアリング。</p> <p>[第2日] 午前:朝は登園の様子を観察。その後各クラスで保育観察。 昼食:園児と一緒に食べながら保育観察。 午後:各クラス担任保育士5名、栄養士1名、非常勤職員1名、主任に順にヒアリング。 その後、園長・主任・保育アドバイザーにヒアリング。 最後に意見交換を行い、終了。</p>
4、利用者本人調査 実施日 第1日:2015年12月9日 第2日:2015年12月10日	<p>① 観察調査を調査員が各クラスで実施し、戸外・園外での活動も観察した。</p> <p>② 幼児を中心に、観察調査や昼食で同席した際に、会話の中で適宜聞き取りを実施した。</p>

【施設の概要】

にじいろ保育園洋光台は JR 京浜東北・根岸線「洋光台」駅から歩いて 8 分ほどの、落ち着いた住宅街の中にあります。園の周辺は自然が豊かで、近くには広々とした公園が複数あります。

にじいろ保育園洋光台は 2013 年（平成 25 年）4 月に株式会社サクセスアカデミーによって設立されました。運営法人は保育園・学童クラブ・児童館の運営、病院・事業所・大学内の保育委託サービス、保育施設運営のコンサルティングサービスなどを、首都圏を中心に幅広く展開しています。

鉄骨造り 2 階建ての園舎は日当たりが良く広々としています。園庭は広く、子どもたちがかけっこやドッジボール、泥遊びや水遊びを楽しむことができます。園の内・外にはたくさんの季節の花が飾られていて、子どもたちや保護者だけでなく道行く地域の人たちの目を楽しませています。

定員は 70 名(0 歳児～5 歳児)、開園時間は、平日は 7 時～20 時、土曜日は 7 時～18 時です。

保育理念は「のびやかに育て だいちの芽」、保育目標は「自然を愛し、心身ともに健やかな子ども」「自分で考え行動し、意欲と根気のある子ども」「『仲間』と関わり、人を思いやれる子ども」「自己を表現できる子ども」です。

●特長・優れている点

【1】保育士に優しく受け止められ、子どもたちは園生活を楽しんでいます

保育士は子どもの気持ちに寄り添い、子どもの考えや思いを受け止めるように努めています。乳児は主担当保育士を決めて一人一人の子どもと丁寧にかかわり、子どもと愛着と依存の関係を築けるようにしています。保育士は、子どもの行動や発言を優しく受け止めて気持ちを引き出せるような声かけをし、子どもが自分の気持ちを素直に表現できるよう働きかけています。子どもの希望に沿うことが難しい場合にもすぐに否定するのではなく、分かりやすい言葉で理由を説明し子どもが納得できるようにしています。また、子どもが落ち着かない場面では、それぞれの子どものに合わせた環境設定を工夫し、一人一人の子どもが好きな活動に集中できるようにしています。このような働きかけの結果、子どもたちは自分の気持ちを表情やしぐさ、言葉で素直に表現しています。観察時にも保育士に抱きついたり、甘えてひざの上に乗ったりする姿が見られました。

遊びの場面での子どもたちは、落ち着いて絵を描いたり、ブロックで大きな作品を作ったり、友達とおしゃべりしながら人形遊びをしたりしています。晴れていれば毎日、園庭や公園で元気いっぱい身体を動かし、鬼ごっこなどのゲーム性のある遊びを楽しんでいます。また、チューリップの球根を植えて、毎日芽が出ているかを確認したり、ドングリや落ち葉で遊んだり季節の自然とも親しんでいます。

このように子どもたちは、保育士に優しく見守られ、自分を素直に表し、園生活を過ごしています。

【2】園が目指す子ども中心の保育の実践に向け、研修に力を入れています

園が目指す子ども中心の保育を実践するために、園長は年度はじめの職員会議で保育理念や方針の徹底を図るとともに、具体的な年度の方針を明示し、職員が共有できるようにしています。月 2 回の職員会議やカリキュラム会議では、一人一人の子どもの様子について情報共有するとともに、自分たちの保育が方針に沿っているかを振り返っています。

また、比較的経験の短い保育士が多いこともあり、研修に力を入れています。職員は、経験やスキルに合わせた市や区の研修に積極的に参加しています。また、園内研修にも力を入れ、体育、運動遊び、わらべ歌、

リズム遊びなど保育士が交代で講師を務め、得意な分野を教え合っています。保育理論や子どもへの接し方、緊急時対応、食物アレルギーなどの研修も行い、スキルアップと職員間での意識の統一を図っています。園内研修は多くの保育士が出席できるよう 2 部制で行い、研修後にはアンケートを取り、講師を務めた保育士が振り返りを行えるようにしています。

このように保育士は、目指す保育の実践に向け、自己研さんを重ねています。

【3】子育て支援「おはなし会」を開催するなど、地域との関係づくりに努めています

園は、運動会の前後には周辺にあいさつ文を配布する、園長が自治会の夏祭りに参加する、近隣小学校のスクールゾーン協議会の保護者と駐車に関する話し合いをし、園の様子を見学してもらうなど、地域との友好関係を築くための取り組みに力を入れています。また、「園だより」約 150 部を園の周辺の住宅にポストティングしています。

地域への子育て支援としては、育児支援担当保育士をおき、隔月に「おはなし会」を実施しています。1 歳児以上と 0 歳児の 2 部形式となっていて、地域のボランティアによる 1 歳児以上対象の「おはなし会」には園児や地域の横浜保育室の子どもたちも参加し、交流しています。0 歳児向けは予約制とし、保育士が読み聞かせや手遊びなどを行い、ゆったりとした時間の中で落ち着いて相談にのれるようにして、キャンセル待ちが出るほど人気となっています。

また、園児たちは、散歩で地域住民とあいつや会話を交わすだけでなく、地域の高齢福祉施設のお年寄りや読み聞かせの男性ボランティアと世代間交流を楽しんだり、5 歳児が地域の保育園との年長児交流や幼保小交流会で小学生と交流したりし、生活の輪を広げています。

●改善や工夫が望まれる点

保護者とのコミュニケーションを深めるためのさらなる工夫が期待されます

朝夕の送迎時には、保育士が保護者とのコミュニケーションに努めるとともに、連絡帳や行事後のアンケートでも、保護者の要望や意見を聞いています。また、園だよりや懇談会、保育参加等を通し、園の取り組みが保護者に理解されるように努めています。

ただし、保護者アンケートにおいて、園の取り組みが必ずしも保護者に理解されていないと思われる意見が見られます。説明内容について職員間であらかじめ打ち合わせをし齟齬がないようにする、保護者の意見をよく聞いて職員間で検討し園の方針を保護者が納得できるように説明するなど、保護者とのコミュニケーションを深めるためのさらなる工夫が期待されます。

●今後の取り組みが期待される点

職員の自主性を引き出すための取り組みが期待されます

園長は方針を明示し、職員集団をリードしてきました。開園後 3 年を経て、職員は進む方向を共有しひたむきに保育にあたっています。

ただし、個々の保育士が自分の保育への思いを活発に話し合い、保育の現場で自主的に実践するまでには至っていません。今後園の運営をさらに良くするためには、園長が指示する形態から、保育士たちが自ら考えて実践する形態に変化させることが大切です。

職員の意見や提案を吸い上げるための仕組みを作り、保育士が主体的に責任をもって保育にあたるような取り組みを工夫することで、職員の自主性が引き出され、保育士のやりがいや自信につながることを期待されます。

分類別評価結果



「ひょう太」 3つ：高い水準にある 2つ：一定の水準にある 1つ：改善すべき点がある

横浜市の評価基準に基づいて、各評価分類は1～6つの評価項目によって構成され、評価項目の評価結果によって、評価分類の評価結果が決まります。

評価領域Ⅰ 利用者（子ども）本人の尊重

評価分類	評価結果
評価分類に含まれる評価項目	評価の根拠（具体的な取り組み・工夫事例）
<p>I-1 保育方針の共通理解と保育課程等の作成</p> <p>(1) 保育の理念や基本方針が利用者本人を尊重したものになっており、全職員が理解し、実践しているか。</p> <p>(2) 保育課程は、保育の基本方針に基づき、子どもの最善の利益を第一義にして作成されているか。</p> <p>(3) 日常の保育を通して子どもの意見や意思を汲み取る努力をし、指導計画に反映させているか。</p>	<div style="text-align: right; margin-bottom: 10px;"> </div> <ul style="list-style-type: none"> • 保育理念は「のびやかに育てだいちの芽」、保育方針は「みとめ愛 みつめ愛 ひびき愛（信頼 安定 共感）」、保育目標は「自分を愛し、心身共に健やかな子ども」「自分で考え行動し、意欲と根気のある子ども」「『仲間』と関わり、人を思いやれる子ども」、「自己を表現できる子ども」で、利用者本人を尊重したものとなっています。保育理念、保育方針、保育目標を玄関、事務所、保育室に掲示するとともに、6月の職員会議で園長が説明しています。保育士は一人一人の子どもの人権を大切に保育にあたっていて、サービスの実施内容は保育の基本方針に沿っています。 • 保育課程は、前年度の振り返りをもとに職員会議で話し合い、作成しています。保育課程に保育理念・保育目標を明記するとともに、地域交流や家庭支援など、地域の実態を考慮して作成しています。保護者に対しては、重要事項説明書に年齢別目標を明記するとともに、玄関のファイルに保育課程を入れいつでも確認できるようにしています。また、新入園時説明会、保護者懇談会でも具体的に分かりやすく説明しています。 • 保育課程に基づき、年間指導計画・月案・週案を作成しています。保育士は、子どもの様子を観察し、態度や表情、しぐさなどから子どもの意思をくみ取り、言語化できる子どもからは、子どもの意見や要望を丁寧に引き出しています。ドングリでままごとをしたいという子どもの声を受けて、かばんを作って拾いにいき、製作からお店屋さんごっこにつなげるなど、子どもの意見や意思を柔軟に計画に取り入れています。
<p>I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施</p> <p>(1) 入園前や入園後すぐに子どもの発達状況や課題を把握しているか。</p> <p>(2) 新入園児受け入れ時の配慮を十分しているか。</p> <p>(3) 子どもの発達や状況に応じて指</p>	<div style="text-align: right; margin-bottom: 10px;"> </div> <ul style="list-style-type: none"> • 入園説明会後に、複数の保育士で保護者に面接をしています。離乳食の進み具合やアレルギー対応など、必要に応じて栄養士や看護師も面接しています。 • 入園時に保護者に児童調査票、児童健康調査票、入園時面接確認シート、離乳食シートに保護者に記入してもらって面接で確認し、入園までの成育歴や家庭での状況を把握しています。把握した情報は職員会議で共有

導計画を作成しているか。

しています。記録は事務室の施錠できる棚に保管し、必要な職員がいつでも確認することができます。

- 子どもが愛着と依存の関係を築き安心して園生活が送れるよう、0・1歳児に対しては個別の主担当保育士を決めています。入園時には、タオル、ぬいぐるみなど子どもが心理的拠り所とするものの持ち込みができます。
- 複数担任のクラスは、原則として担任が一人は持ち上がることにしています。特に環境の変化が大きい3歳への進級時には、必ず担任が一人持ち上がり、2月後半からは2階の3歳児保育室に遊びに行く機会を作り、子どもが4月からの保育室に慣れるようにしています。
- 指導計画はクラス担任が話し合って作成し、カリキュラム会議で職員間で意見交換し、共有しています。トイレトレーニング、離乳食の進み具合、はしの導入など、保護者の意向を確認し計画に反映しています。

I-3 快適な施設環境の確保



- (1) 子どもが快適に過ごせるような環境（清潔さ、採光、換気、照明等）への配慮がなされているか。
- (2) 沐浴設備、温水シャワーなど体を清潔にできる設備があるか。
- (3) 子どもの発達に応じた環境が確保されているか。

- 「清掃チェックシート」に基づいて清掃が行われていて、園の内・外とも清潔に保たれています。空気清浄器、温湿度計、エアコン、加湿器を設置し、換気や温・湿度の管理を行っています。保育室の窓は掃き出し窓となっていて、陽光を十分に取り入れることができます。
- 園内・外には季節の花が多く飾られ、室内には手作りの飾り物やボランティアによる写真が飾られ、落ち着いた和やかな雰囲気を作り出しています。
- 沐浴、温水シャワーの設備があり、チェック表に基づいて適切に管理されています。
- 保育室には敷物や畳、棚を用いてコーナーを作り、小集団で落ち着いて遊べるよう工夫しています。食べる・寝るの機能別の空間も確保されています。
- テラスや広い廊下が異年齢間の交流の場となっています。隣のクラスの活動の様子をのぞきに行ったり、テラスの0歳児に園庭で遊んでいる幼児が声をかけるなど、子どもたちは日常的に交流しています。

I-4 一人一人の子どもに個別に対応する努力



- (1) 子ども一人一人の状況に応じて保育目標を設定し、それに合わせた個別指導計画を作成しているか。
- (2) 子ども一人一人の発達の過程に応じた対応をし、その記録があるか。

- 0・1・2歳児は個別指導計画を作成しています。幼児についても特別な課題がある場合には、個別指導計画を作成しています。個別指導計画は、各クラスでの話し合いをもとに、毎月のカリキュラム会議で一人一人の子どもの発達状態について検討し、作成し、見直しをしています。
- 一人一人の保育所児童保育要録を作成し、小学校に送付しています。重要部分は口頭でも伝達しています。
- 入園時に、保護者から子どもや家庭の個別の状況・要望を児童調査票に記入してもらっています。入園後の子どもの成長・発達の様子は「児童表・保育経過記録」に4期に分けて記入しています。子どもの記録は事

務所の鍵のかかる棚に保管し、必要な職員はいつでも見ることができます。

I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み



- | | |
|---|---|
| <p>(1) 特に配慮を要する子どもを受け入れ、保育する上で必要な情報が職員間で共有化されているか。</p> <p>(2) 障害児保育のための環境整備、保育内容の配慮を行っているか。</p> <p>(3) 虐待を疑われる子どもの早期発見と適切な対応を心がけているか。</p> <p>(4) アレルギー疾患のある子どもへの適切な対応ができていますか。</p> <p>(5) 外国籍や帰国子女など、文化の異なる子どもに対して適切な配慮がされているか。</p> | <ul style="list-style-type: none">・ 特に配慮を要する子どもを積極的に受け入れています。・ 職員会議やミーティングで個別のケースについて話し合い、職員間で共有しています。職員は市や区、南部地域療育センターなどの研修に参加し、研修報告書を作成するとともに職員会議で報告しています。・ 園内は段差のないバリアフリー構造となっていて、エレベーター、障がい者用トイレの設備もあります。・ 保護者の同意を得て南部地域療育センターの巡回相談を受けています。また、月1回運営法人の契約する臨床心理士による巡回相談があります。絵カードや時計を用いる、昼寝のときに屏風で仕切るなど、障がいがある子どもが集団の中で過ごせるように環境構成を工夫しています。子どもたちは障がいを自然に受け入れ、手助けをしています。・ 「虐待対応マニュアル」があり、区の保健師による児童虐待に関する園内研修を実施するとともに、職員が区や市主催の外部研修にも参加しています。虐待が明白になった場合や疑わしい場合、見守りが必要な場合には、磯子区役所や南部児童相談所と連携する体制ができています。職員は、保護者に寄り添い悩みを受け止めるよう努めています。・ 子どものかかりつけ医から「保育所におけるアレルギー疾患生活管理指導表」を提出してもらい、それに基づき「除去食対応シート」を作成し除去食を提供しています。毎月、保護者・担任・栄養士・看護師が面談し、翌月の献立表を確認してもらい、除去食を提供しています。除去食を提供する場合には、アレルギー対応マニュアルに沿い、調理室内、保育士への受け渡し、子どもへの提供とそれぞれの場面で声だし確認を徹底しています。名前付きの別トレー、食器、専用テーブルを使用し、誤食事故を防止しています。・ 外国籍など文化の異なる子どもに対しては、文化や生活習慣の違いを尊重しています。意思疎通が困難な子どもに対しては、国籍が同じクラスの子どものに通訳を頼んだり、保育士が英語で問いかけて確認したりしています。保護者に対しては、ゆっくりと身振りも交えて話しかける、入園時面接などに通訳ボランティアを頼むなどしています。 |
|---|---|

I-6 苦情解決体制




- | | |
|--|---|
| <p>(1) 保護者がサービスについての要望や苦情を訴えやすい仕組みになっているか。</p> <p>(2) 要望や苦情等を受けて、迅速に対応できる仕組みになっているか。</p> | <ul style="list-style-type: none">・ 苦情受付担当者、苦情解決責任者は園長で、重要事項説明書に記載するとともに、玄関に掲示しています。・ 第三者委員2名を定め、氏名と連絡先を重要事項説明書に記載し、玄関に掲示しています。玄関に意見箱「スマイルボックス」を置いています。懇談会や個人面談で保護者の意見や要望を聞いています。また、行事後にはアンケートを取っています。保育士は保護者とのコミュニケーション |
|--|---|

ンに努め、意見を聞いています。

- 苦情解決マニュアルがあります。要望や苦情は、職員会議などで原因と対策について話し合い、改善につなげています。要望や苦情は苦情解決書に記載して、運営に生かしています。駐車場の使い方についての苦情を受け、再度文書で保護者に説明した等の事例があります。

評価領域Ⅱ サービスの実施内容

評価分類	評価結果
評価分類に含まれる評価項目	評価の根拠（具体的な取り組み・工夫事例）
<p>Ⅱ-1 保育内容[遊び]</p> <p>(1) 子どもが主体的に活動できる環境構成（おもちゃ・絵本、教材、落ち着いて遊べるスペースなど）ができているか。</p> <p>(2) 遊びが一斉活動に偏らないよう配慮しているか。</p> <p>(3) 動植物の飼育や栽培・園外活動など、自然に触れたり地域や社会に関わる体験が取り入れられているか。</p> <p>(4) 子どもが歌やリズム、絵や文字、からだを動かすなどの体験を通して、自分の気持ちを自由に表現できるよう配慮されているか。</p> <p>(5) 遊びを通して子ども同士の関係や保育士との関係が育つよう配慮しているか。</p> <p>(6) 積極的な健康増進の工夫が遊びの中でなされているか。</p>	<p style="text-align: right;"></p> <ul style="list-style-type: none">• 室内は仕切り板（手作り）やコーナーを利用して子どもが落ち着いて遊べる環境を作り出しています。おもちゃや教材は子どもの目線に合わせた棚の中に種類別に箱やかごに入れておいてあり、子どもが自由に選んで取り出して遊べるようになっています。乳児には音が出たり、つかみやすいおもちゃ、絵本、幼児には人形、ブロック、キッチンセットなど年齢や発達に合わせたおもちゃを用意しています。• 子どもたちは家族ごっこをしたりアニメキャラクターになりきったりして遊ぶなどしています。部屋の隅やパーテーションで囲んだ場所で、ブロックで遊んだり絵を描いたりして遊んでいる子どももいます。• 「お散歩マップ」を作成し、その日の天気、園児の様子を確認しながら散歩の公園を選んでいきます。公園では葉っぱや木の実を集めたり、芝生の上を走りまわったりして、自然に触れています。散歩に出かける時は地域の住民、商店の店員、他園の保育士や園児などにあいさつをしています。• オクラを栽培し収穫したものに赤、黄、オレンジの絵の具を塗りスタンプ製作を行っています。また、子どもたちは一人一人チューリップの植え付けを行い、水やりをしています。• 乳児クラスではわらべ歌、幼児クラスではピアノに合わせて歌ったり体を動かしたり、造形活動、体操等を通じて、子どもの発達状況に合わせて自由に表現できるように配慮しています。• 保育士は子どもの様子を常に危険がないよう見守っています。特にけんか等については保育士は子どもの体を抱き込むようにして両者の話を聞き、それぞれの子どもの気持ちを代弁したり、子どもが直接気持ちを伝えることができるようにしています。• 乳児クラス・幼児クラスともに公園までの散歩、園庭遊びなど積極的に屋外での活動を取り入れています。幼児クラスでは登園後（8時から9時）すぐに園庭で遊ぶことになっているのをはじめとして、朝の会が終了後、園庭や公園に出かけています。また室内で製作を行うプログラム終了後にも、天気良ければ外遊びを行っています。

Ⅱ－１ 保育内容[生活]



- | | |
|--|---|
| <p>(7) 食事を豊かに楽しむ工夫をしているか。</p> <p>(8) 食事の場、食材、食器等に配慮しているか。</p> <p>(9) 子どもの喫食状況を把握して、献立の作成・調理の工夫に活かしているか。</p> <p>(10) 子どもの食生活について、家庭と連携しているか。</p> <p>(11) 午睡・休息は発達や日々の子どもの状況に応じて対応しているか。</p> <p>(12) 排泄は個人差があることを十分に配慮して対応しているか。</p> | <ul style="list-style-type: none">• 子どもが苦手な食材を食べたときには褒めるようにしています。• 行事食を取り入れたり、寒い季節はシチュー、ポトフなどを多く提供したりしています。去年は弁当給食を行い、子どもたちが楽しんで食事ができるよう工夫しています。• 残食や食事の感想を「給食記録日誌」に記入しています。献立は月2回同じものが提供され、一回目の子どもたちの様子で二回目に提供する野菜の切り方を変えるなど、調理の工夫をしています。• 誕生月の子どもの保護者には保育参加のあり、給食時に子どもと一緒に試食をしてもらっています。• 昼の場所を午睡の場所と決めています。眠れない子ども、眠くない子どもには仕切りを用意し、子どもの個別の空間を作り落ち着けるようにしたり、本を読んだりして体を休ませるようにしています。• トイレに座り排泄できるようになり、オムツの濡れることが少なくなってきたら保護者に相談し、トイレトレーニングを開始するようにしています。 |
|--|---|

Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [健康管理]



- | | |
|--|--|
| <p>(1) 子どもの健康管理は、適切に実施されているか。</p> <p>(2) 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映させているか。</p> <p>(3) 感染症等への対応に関するマニュアルがあり、保護者にも徹底しているか。</p> | <ul style="list-style-type: none">• 保育ガイドの中に健康管理項目があり、それに基づき担任・看護師を中心として、子ども一人一人の健康状態を把握しています。• 健康診断・歯科健診の結果は一人一人の「児童健康調査票」「定期健康診断」「歯科健康診査表」に記録しています。健康診断、身体測定の結果は保護者に「健康の記録」を手渡し、伝えています。• 感染症等への対応を明記した感染症対応マニュアルがあり、保護者には重要事項説明書の中の、「感染症に関する項目」で説明しています。 |
|--|--|

Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理]




- | | |
|-----------------------------|---|
| <p>(4) 衛生管理が適切に行われているか。</p> | <ul style="list-style-type: none">• 「保健衛生マニュアル」「清掃マニュアル」があります。「清掃手順表」「みんなのトイレ清掃チェック表」などを作成し、それに基づいて清掃が行われ清潔な状態が保たれています。 |
|-----------------------------|---|


Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理]





- | | |
|---|---|
| <p>(5) 安全管理に関するマニュアルがあり、事故や災害に備えた安全対策が実施されているか。</p> <p>(6) 事故や怪我の発生時および事後の対応体制が確立しているか。</p> | <ul style="list-style-type: none">• 「危機管理マニュアル」「安全管理マニュアル」「避難訓練マニュアル」「自己チェック表」など各種のマニュアルがあり、全職員に周知しています。年に一度行われる、園児の引き渡し訓練では連絡から引き取りに来る保護者、時間などを確認しています。• 子どもの事故・けがに際しては、マニュアルに沿って保護者や救急機関 |
|---|---|

(7) 外部からの侵入に対する対応策が整備されているか。	<p>とすぐ連絡がとれる体制が確立しています。事務所には医療機関の一覧表と共に119番のかけ方を掲示しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 玄関はオートロックで施錠しています。警備会社と契約をし、緊急通報体制や携帯用警報機があります。
------------------------------	--


<h2>Ⅱ-3 人権の尊重 </h2>	
<p>(1) 保育中の子どもの呼び方や叱り方などで、子どもの人格尊重を意識しているか。</p> <p>(2) 必要に応じてプライバシーが守れる空間を確保できるような工夫がされているか。</p> <p>(3) 個人情報の取り扱いや守秘義務について、職員等に周知しているか。</p> <p>(4) 性差への先入観による役割分業意識を植え付けないよう配慮しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 子どもに対して威圧的な言葉遣いや無視が行われないよう、保育ガイドを基に研修を行っています。職員間で、疑問に思ったことを批判や悪口ではなく、職員同士がきちんと伝えることができるように研修を行っています。 • 棚で仕切られた部屋の隅やパーテーションで囲まれた場所など、友達や保育士の視線を意識せず過ごせる場所があります。 • 全職員に配布されているマニュアルには、守秘義務や個人情報の取り扱いに関する記述があり、職員に周知しています。個人情報は園外に持ち出すことができないことになっています。 • 保育ガイドには「男女共同参画社会」についての記載があり、職員に周知されています。また、保育中に気になる事例がある場合はミーティングで話しあっています。

<h2>Ⅱ-4 保護者との交流・連携 </h2>	
<p>(1) 保護者が保育の基本方針を理解できるよう努力しているか。</p> <p>(2) 個々の保護者との日常的な情報交換に加え、個別面談等を行っているか。</p> <p>(3) 保護者の相談に応じているか。</p> <p>(4) 保育内容（行事を含む）など子どもの園生活に関する情報を提供しているか。</p> <p>(5) 保護者の保育参加を進めるための工夫をしているか。</p> <p>(6) 保護者の自主的な活動の援助や意見交換を行っているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 保護者に対しては、懇談会や保育参観などのときに理念や保育方針を説明しています。また入園時にも園長から説明しています。 • 保護者の希望があれば随時個人面談を行っています。園長・主任・栄養士・看護師などが必要に応じて対応しています。 • 保護者からの相談は担任が対応し、主任・園長が支援する体制となっています。プライバシーに配慮しながら、必要があれば保護者の同意を得て関係機関や臨床心理士を紹介しています。 • 「にじいろブログ」にはクラスの様子などが逐次更新され、園での子どもたちの様子が分かるようになっています。 • 保育参加を子どもの誕生月に2回設け、保護者の都合の良い日に参加してもらっています。保育参加の日は子どもと一緒に給食を食べるなど、子どもの日常の様子を見てもらっています。保育参加に参加できなかった保護者に対しては、希望があれば参加日以外の日でも受け入れています。 • 保護者会が組織されておらず、保護者の自主的な活動は行われていません。そのため、職員への参加要請が行われるような活動はありません。 • 保護者アンケートにおいて園の取り組みが必ずしも保護者に理解されていないと思われる意見が見られますので、保護者とのコミュニケーションを深めるためのさらなる工夫が期待されます。

評価領域Ⅲ 地域支援機能

評価分類		評価結果
評価分類に含まれる評価項目	評価の根拠（具体的な取り組み・工夫事例）	
Ⅲ－１ 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供		
<p>(1) 地域の子育て支援ニーズを把握するための取り組みを行っているか。</p> <p>(2) 地域の子育て支援ニーズに応じて施設の専門性を活かしたサービスを提供しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園長が新年会やお祭り、連合会などの自治会行事に出席して自治会関係者と交流し、園に対する地域の要望を把握しています。育児相談や隔月行われる「おはなし会」の出席者、見学者などからも園への要望を聞いています。また、磯子区子育て支援連絡会、洋光台地区子育て支援連絡会に参加し、地域のニーズを把握しています。 ・育児支援担当保育士をおき、隔月に子育て支援「おはなし会」を実施しています。1歳児以上と0歳児で分けて2部形式とし、地域のボランティアによる1歳児以上対象の「おはなし会」には、園児や地域の横浜保育室の子どもたちも参加し交流しています。0歳児向けは予約制でゆったりとした時間の中で保育士が読み聞かせや手遊び等を行い、落ち着いて相談にのれるようにしています。0歳児向け「おはなし会」では、読み聞かせの方法、離乳食、子どもの成長などの育児講座も行っています。 	
Ⅲ－２ 保育園の専門性を活かした相談機能		
<p>(1) 地域住民への情報提供や育児相談に応じているか。</p> <p>(2) 相談内容に応じて関係諸機関・団体との連携ができる体制になっているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・育児相談はいつでも受け付けていて、その旨を園の掲示板で知らせています。また、「おはなし会」でも相談の時間をとっています。園の掲示板に園や地域の子育て支援に関する情報を掲示しています。園のブログにも「おはなし会」の様子を載せています。 ・磯子区役所、南部地域療育センター、南部児童相談所などの関係機関のリストが事務所にあり、職員がいつでも確認することができます。関係機関との連携の担当は園長で、必要なときにはいつでも連絡をとることができます。 	

評価領域Ⅳ 開かれた運営

評価分類		評価結果
評価分類に含まれる評価項目	評価の根拠（具体的な取り組み・工夫事例）	
Ⅳ－１ 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ		
<p>(1) 保育園に対する理解促進のための取り組みを行っているか。</p> <p>(2) 子どもと地域との交流により、子どもの生活の充実と地域の理解を深めているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月、地域の男性ボランティアによるお話会を行っていて、園児との世代間交流の場となっています。また、近隣の横浜保育室にプールを開放しています。 ・保育士が園舎周りの清掃や雪かきをする、運動会の前後には周辺にあいさつ文を配布する、園長が自治会の夏祭りに参加する、近隣小学校のスクールゾーン協議会の保護者と駐車に関する話し合いをし園の様子を見 	

学してもらうなど、地域との友好関係を築くための取り組みに力を入れています。また、「園だより」約 150 部を園の周辺の住宅にポスティングしています。

- 保育士と子どもたちは散歩で行き交う地域住民とあいさつや会話を交わし交流しています。3・4・5 歳児が近くの高齢者施設を訪問し、歌や踊りを披露したり、お年寄りから歌を教えてもらったりして交流しています。施設のお年寄りが園を訪問することもあります。
- 5 歳児は、地域の 5 園との年長児交流で公園で一緒に遊んだり、ドッジボール大会をしたりしています。5 歳児が幼保小交流会に参加し、小学校を見学に出かけています。

IV-2 サービス内容等に関する情報提供



- (1) 将来の利用者が関心のある事項についてわかりやすく情報を提供しているか。
- (2) 利用希望者の問い合わせや見学に対応しているか。

- ホームページで園の情報を提供しています。磯子区子育て支援拠点「いそピヨ」に園のパンフレットを置いています。横浜市のホームページ「ヨコハマはびねすぽっと」、磯子区ホームページに園の情報を載せています。
- 利用希望者の問い合わせや見学には、パンフレットを用いて説明していて、園長・主任・事務が中心となりいつでも対応できる体制ができています。見学は、利用希望者の希望を聞いて日程を調整しています。




IV-3 ボランティア・実習の受け入れ






- (1) ボランティアの受け入れや育成を積極的に行っているか。
- (2) 実習生の受け入れを適切に行っているか。

- ボランティア・実習生受け入れのためのマニュアルがあり、それに基づきボランティア・実習生に園の方針や子どもへの配慮について説明しています。守秘義務の遵守については説明をし、機密保持誓約書に署名してもらっています。ボランティア・実習生受け入れにあたり、職員には職員会議で、保護者には園だよりで説明しています。
- 近隣中学生のボランティア体験のほか、お話し会、楽器演奏などのボランティアを受け入れています。近隣中学生のボランティアに対しては、終了後に感想文を書いてもらっています。
- 実習生受け入れの担当は園長、育成担当は主任で、事前の実習生との話し合いで実習目的や希望を確認し、プログラムを工夫しています。実習終了後には話し合いを行っています。
- 短大や専門学校の保育学科の学生のほか、高校教師の社会体験研修も受け入れています。

評価領域V 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価結果
評価分類に含まれる評価項目	評価の根拠（具体的な取り組み・工夫事例）
<p>V-1 職員の人材育成</p> <p>(1) 保育園の理念や方針に適合した人材を育成するための取り組みを行っているか。</p> <p>(2) 職員・非常勤職員の研修体制が確立しているか。</p> <p>(3) 非常勤職員等にも日常の指導を行っているか。</p>	<div style="text-align: right;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> • 保育園の理念や方針を実現するために、各クラスの保育士は配置基準より多い人数を配置するように努めています。保育士の年次や担任・主任といった役職を考慮して人材育成計画を策定し実施しています。 • 園内で救命救急研修などを定期的で開催し、常勤職員・非常勤職員ともに受講しています。また、職員・非常勤を問わず、市や区、大学などが開催する外部研修にも参加しています。 • 外部研修受講後は、研修報告書を作成して職員会議等で発表し、研修内容を職場内に共有しています。 • 非常勤職員の方が経験が長いいため、若い職員が非常勤職員に学ぶことが多くなっています。主任が非常勤職員のフォロー役となり、各種の会議内容や伝達事項をチェックリスト等を使って忘れずに伝えるとともに、適宜声をかけてコミュニケーションをとっています。
<p>V-2 職員の技術の向上</p> <p>(1) 職員のスキルの段階にあわせて計画的に技術の向上に取り組んでいるか。</p> <p>(2) 保育士等が保育や業務の計画及び記録を通してみずからの実践を振り返り、改善に努める仕組みがあるか。</p> <p>(3) 保育士等の自己評価を踏まえ、保育所としての自己評価を行っているか。</p>	<div style="text-align: right;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> • 職員は年度のはじめに自身の目標と研修計画を定め、園長との定期的な面談を通して振り返りと達成度の評価を行っています。また、職員会議等で各種の事例や各保育士の取組みを共有し、保育全体の向上を図っています。 • 保育日誌、月間予定等には計画に加えて振り返りも記入できるようにしており、職員会議等で問題のあった事例を話し合い、その結果を以降の計画に反映するようにしています。 • 保育所の自己評価は、にじいろ保育園全体で共通に使用している「にじいろの保育」を使って実施しています。保育士の自己評価や各種の保護者アンケートから保育所の課題を明らかにし、課題に優先順位をつけながら対応するようにしています。保育所の自己評価は玄関に置き保護者が自由にみられるようにしています。
<p>V-3 職員のモチベーション維持</p> <p>(1) 本人の適性・経験・能力に応じた役割を与え、やりがいや満足度を高めているか。</p>	<div style="text-align: right;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> • クラス担任やその他の係を決め、各自がそれぞれの役割を責任もって実施するようにしています。 • 職員会議やミーティングで職員の意見を聞き、個人面談では要望や満足度を確認することでモチベーションの維持を図っています。 • 職員の自主性を引き出すために、今後は職員の意見や提案を吸い上げるための仕組みを作り、保育士が主体的に責任を持って保育にあたるような取り組みを工夫することが期待されます。

評価領域Ⅵ 経営管理

評価分類	評価結果
評価分類に含まれる評価項目	評価の根拠（具体的な取り組み・工夫事例）
<p>Ⅵー1 経営における社会的責任</p> <p>(1) 事業者として守るべき、法・規範・倫理等を周知し実行しているか。</p> <p>(2) サービスの質を維持しつつゴミ減量化・リサイクル・省エネルギーの促進、緑化の推進など環境に配慮しているか。</p>	<div style="text-align: right;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> ・守るべき法・規範・倫理等について、入社時のコンプライアンス研修で周知しています。また、保育ガイドには「子ども的人権」「望ましい保育士の資質」等が詳細に記してあります。 ・各種の会議や園内研修で他の施設の不適切な事例を共有し、それらが起こらないように注意喚起しています。 ・家庭で出たプラスチック容器、空箱等を持ってきてもらい、教材に生かしています。 ・横浜市資源循環局の磯子事務所より環境教室に来てもらい、ゴミの分別の仕方、リサイクルしたものがどのようなものになってしまうのかを次世代の子どもたちに教えています。 ・廊下、階段、保育室等の使っていない電気、エアコンは細めに消しています。また、夏はゴーヤ、朝顔、ふうせんかずら等で涼しくしたり、室内には観葉植物を置き緑化に努めています。
<p>Ⅵー2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p> <p>(1) 保育園の理念や基本方針等について職員に周知されているか。</p> <p>(2) 重要な意思決定にあたり、関係職員・保護者等から情報・意見をまとめたり説明しているか。</p> <p>(3) 主任クラスの職員がスーパーバイザーとしての役割を果たしているか。</p>	<div style="text-align: right;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> ・保育理念、保育方針等は、明文化されたものを玄関、廊下、事務所、休憩室、トイレ等に掲示しています。また、職員が保育理念・保育方針等を理解しているかは採用時の園内研修の中で確認し、その後は年2回の面談の中で確認しています。 ・重要な意思決定の例として写真代の変更といったお金にかかわる件などがあり、保護者に十分説明しています。また、子ども・子育て新制度の重要事項説明については、保護者に園長が説明しています。 ・主任は、日々の全職員の配置がわかる動向表を作成して業務状況を把握し、フリーで動きながら全クラスの子どもや職員の状況を確認しています。 ・主任は毎朝、職員の様子を観察して精神面・肉体型の状況の把握に努め、柔軟にコミュニケーションをとりメンタル面も含めたフォローをしています。
<p>Ⅵー3 効率的な運営</p> <p>(1) 外部環境の変化等に対応し、理念や基本方針を実現するための取り組みを行っているか。</p> <p>(2) 保育園運営に関して、中長期的な計画や目標を策定しているか。</p>	<div style="text-align: right;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> ・園長が保育園の運営に関する情報を、保育関係新聞記事、運営法人園長会、横浜市私立園長会、区園長会、エリア園長会等で収集し分析し、重要な情報は運営法人園長会で討議し、重要課題として設定しています。 ・人権、児童虐待防止、個人情報保護等について職員会議等で共有し取り組んでいます。

- 運営法人は、人材確保・人材育成を中長期的な事業課題と捉えて、人材採用の多様化や主任等の研修の充実に取り組んでいます。
- 運営法人は、人材育成や待機児童の解消のための新たな仕組みの検討に取り組んでいます。

利用者（園児）家族アンケートの結果概要

●実施期間

2015年10月13日～27日

●実施方法

- ① 保育園から全園児の保護者に直接配付（手渡し）し、回答を依頼。
- ② 各保護者より、同封の返送用封筒で、評価機関あてに無記名で返送。

●回収率

66.7%（63枚配付、42枚回収）

※文中の「満足度」は、「満足」・「どちらかといえば満足」の回答を合計した数値、「不満」は、「不満」・「どちらかといえば不満」の回答を合計した数値です。

【結果の特徴】

- 園の保育目標や保育方針については、「よく知っている」「まあ知っている」と答えた保護者の割合は合わせて71.4%です。知っていると答えた保護者は全員が「賛同できる」または「まあ賛同できる」と答えています。
- 満足度が比較的高い項目は、「お子さんが園生活をたのしんでいるか」の95.2%、「一日の過ごし方についての説明」「落ち着いて過ごせる雰囲気となっているか」の92.8%、「園の目標や方針の説明」「おもちゃや教材について」「お子さんが給食を楽しんでいるか」「重要な情報の連絡体制」「残業などで迎えが遅くなる場合の対応」の90.5%です。
- 一方不満の割合が比較的高い項目は「年間の保育や行事に保護者の意見が活かされているか」の38.1%、「おむつはずし」「意見や要望への対応」の26.2%、「ケガに関する保護者への説明やその後の対応」「不審者侵入を防ぐ対応」の21.4%です。
- 「見学の受け入れ」が52.3%と満足度が低くなっていますが、「その他」「無回答」を合わせてそれぞれ45.3%で、自由回答にも「新設園のため見学していない」という意見が多数あります。また、「アレルギーのあるお子さんや障がいのあるお子さんへの配慮」も満足度が64.3%と低いですが、「その他」「無回答」が合わせて31%となっています。
- 園に対する総合的な満足度では、「満足」（35.7%）、「どちらかといえば満足」（42.9%）合わせて78.6%の満足度でした。
- 自由記述欄には、保育士への感謝の言葉が複数寄せられています。一方、運動会や遠足などの行事に対する意見をはじめとして、保育士の入れ替え、おむつはずし、歯磨き指導などについてのさまざまな意見や要望が寄せられています。

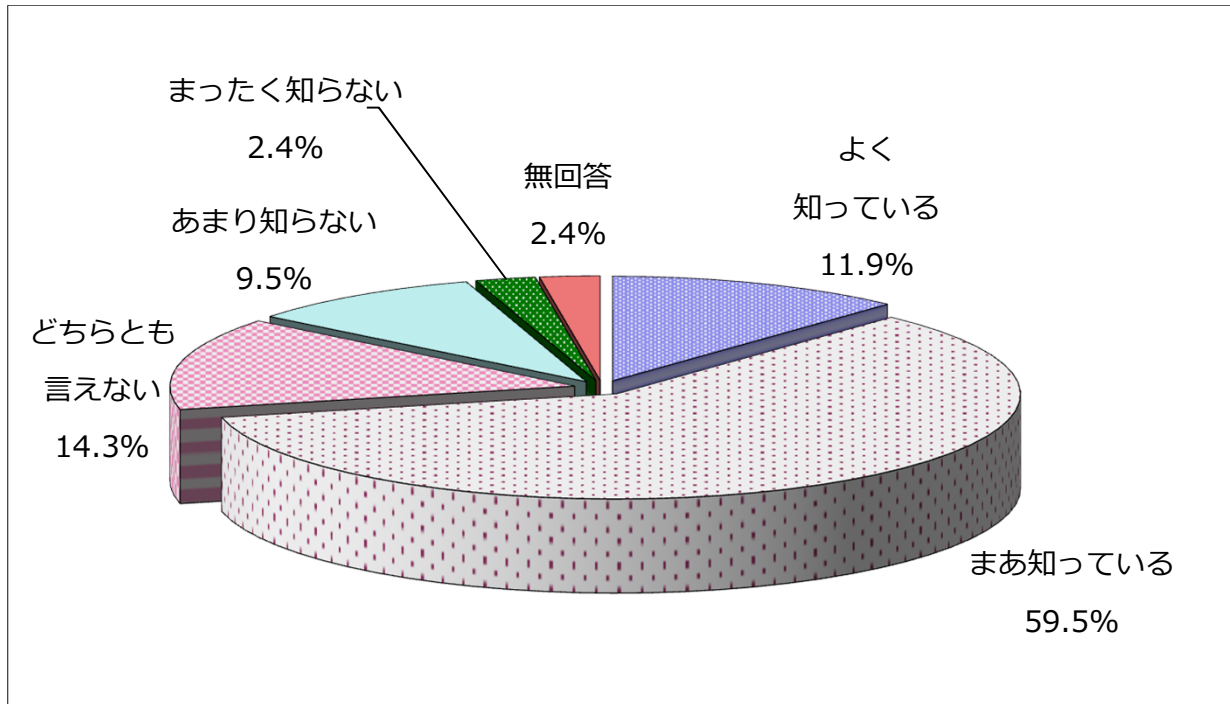
【参考】

- 大問ごとの平均満足度は、「入園時の状況について」の90.6%、「職員の対応について」の89.7%をはじめとして7問中5問が85%以上となっています。一方、「年間の計画について」が70.5%と比較的低くなっています。

利用者（園児）家族アンケート 集計結果・分析

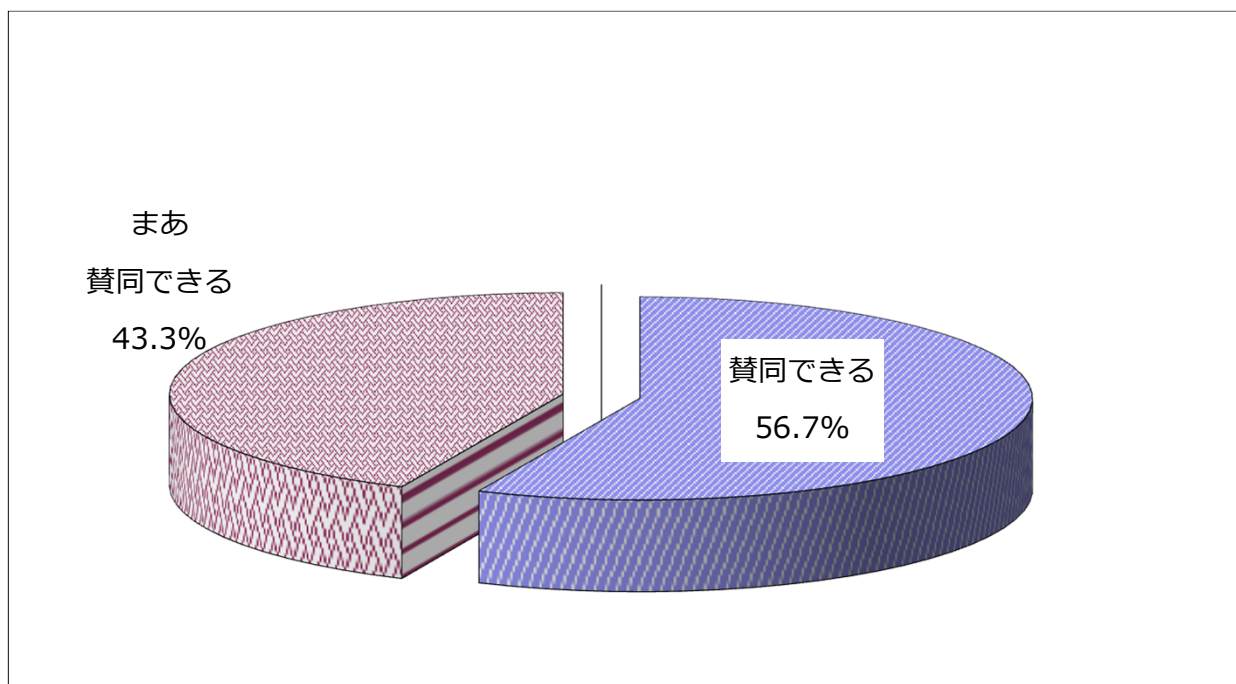
■ 保育園の基本理念や基本方針について

問1 保育園の保育目標や保育方針を知っていますか



「よく知っている」「まあ知っている」と答えた方への付問

付問1 その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか

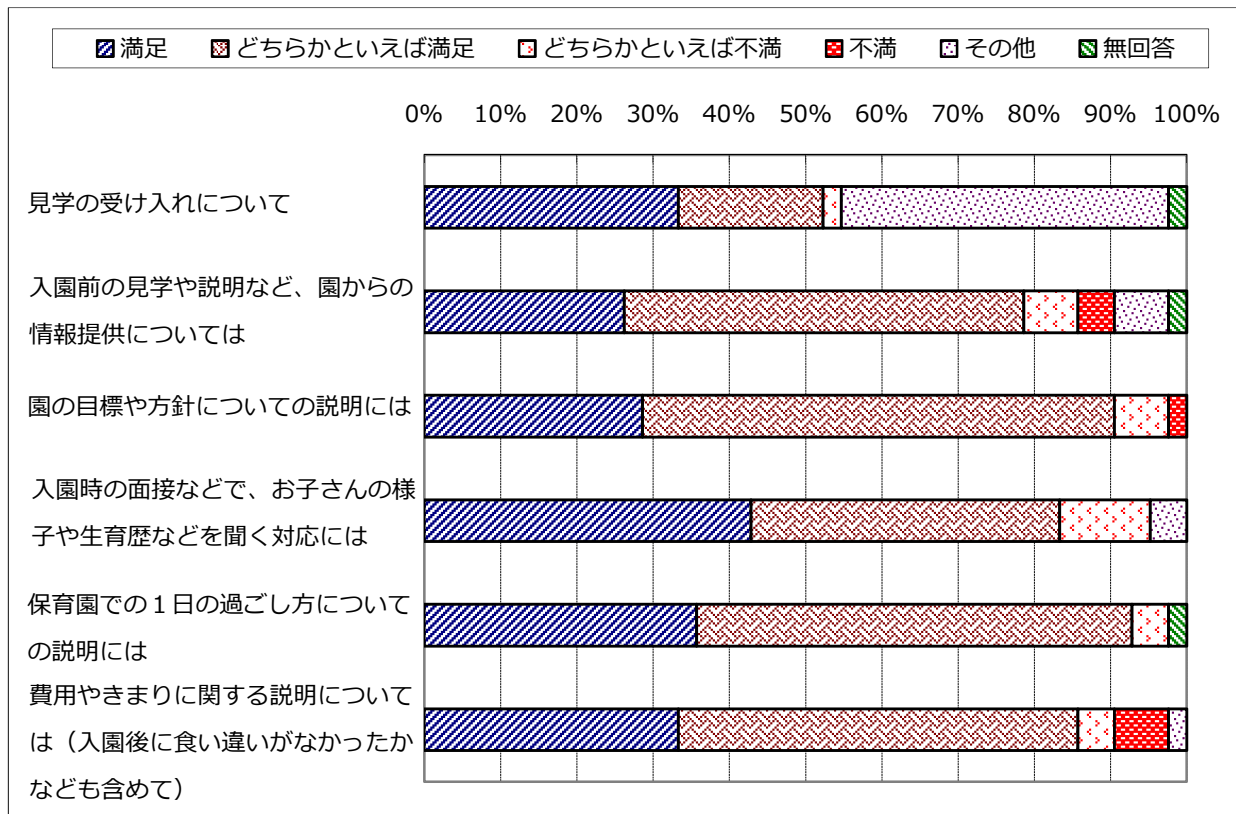


■ 保育園のサービス内容について

(%)

問2 入園時の状況について

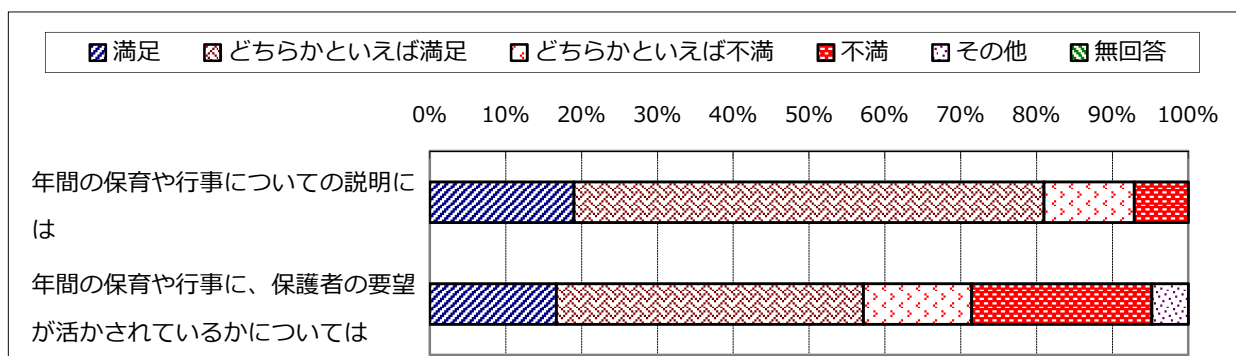
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
見学の受け入れについて	33.3	19.0	2.4	0.0	42.9	2.4
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	26.2	52.4	7.1	4.8	7.1	2.4
園の目標や方針についての説明には	28.6	61.9	7.1	2.4	0.0	0.0
入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応には	42.9	40.5	11.9	0.0	4.8	0.0
保育園での1日の過ごし方についての説明には	35.7	57.1	4.8	0.0	0.0	2.4
費用やきまりに関する説明については (入園後に食い違いがなかったかなども含めて)	33.3	52.4	4.8	7.1	2.4	0.0



(%)

問3 年間の計画について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
年間の保育や行事についての説明には	19.0	61.9	11.9	7.1	0.0	0.0
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	16.7	40.5	14.3	23.8	4.8	0.0

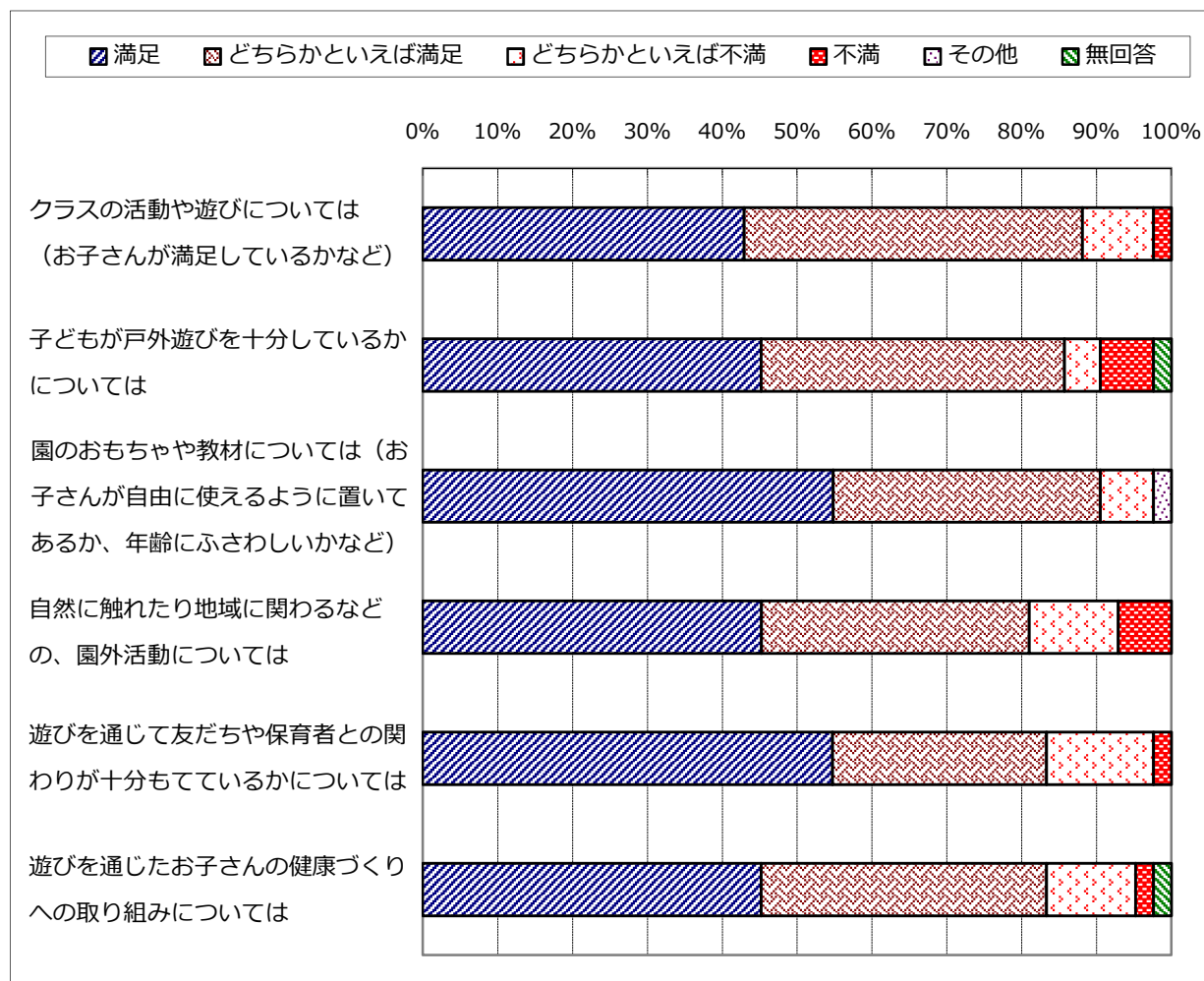


問4 日常の保育内容について

● 「遊び」について

(%)

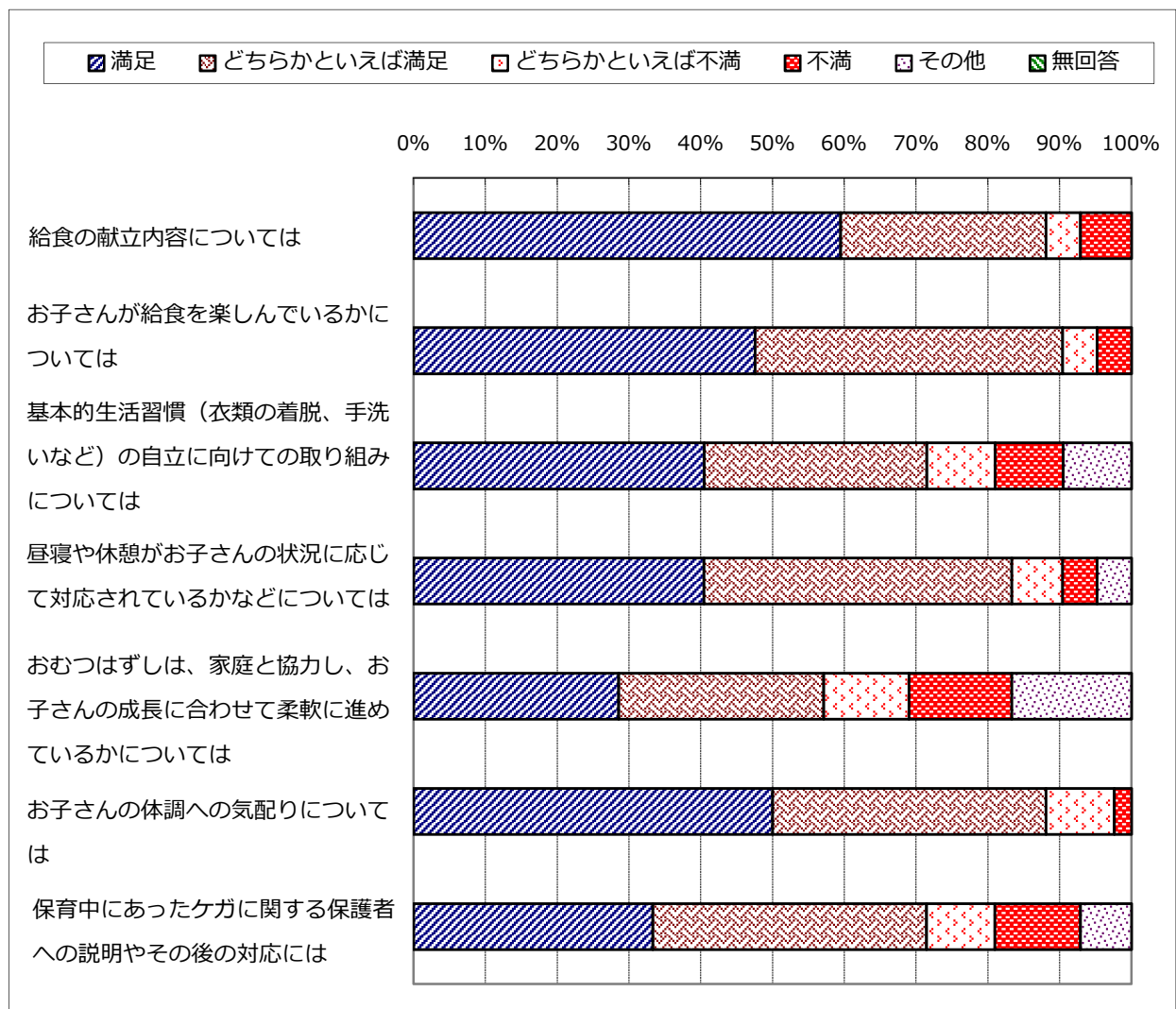
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
クラスの活動や遊びについては (お子さんが満足しているかなど)	42.9	45.2	9.5	2.4	0.0	0.0
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	45.2	40.5	4.8	7.1	0.0	2.4
園のおもちゃや教材については (お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	54.8	35.7	7.1	0.0	2.4	0.0
自然に触れたり地域に関わるなどの、 園外活動については	45.2	35.7	11.9	7.1	0.0	0.0
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もてているかについては	54.8	28.6	14.3	2.4	0.0	0.0
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	45.2	38.1	11.9	2.4	0.0	2.4



●「生活」について

(%)

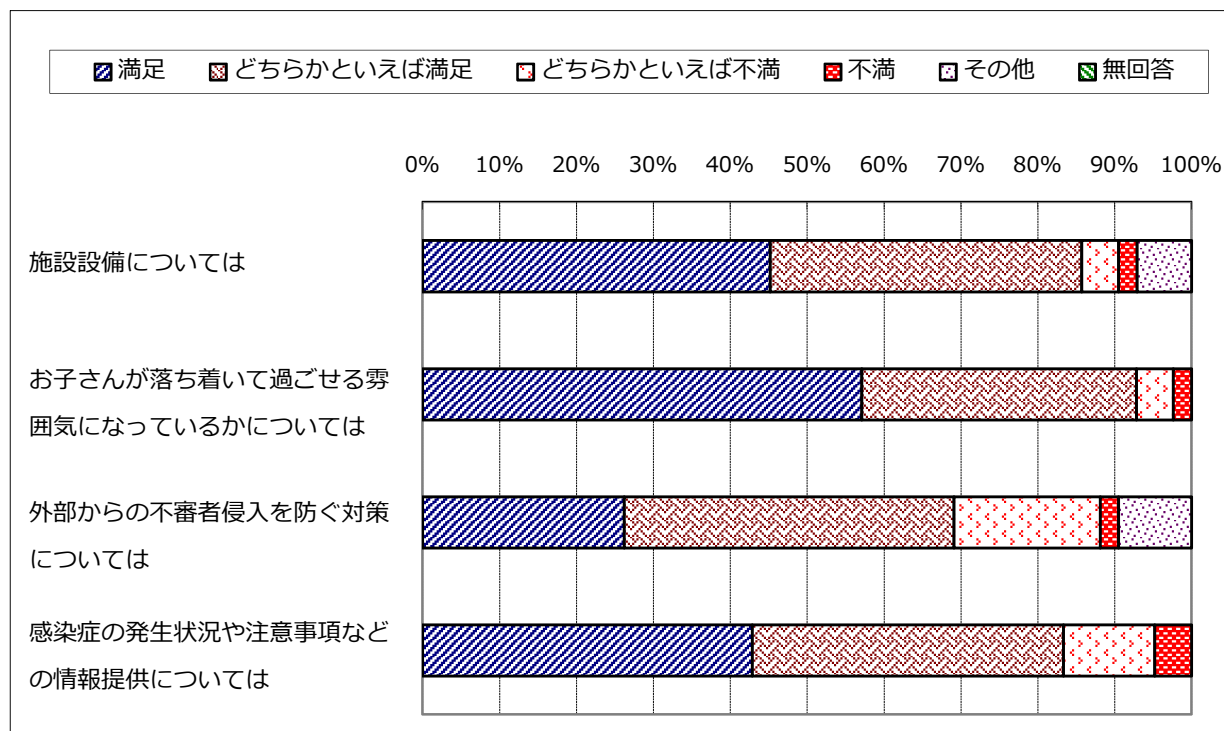
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
給食の献立内容については	59.5	28.6	4.8	7.1	0.0	0.0
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	47.6	42.9	4.8	4.8	0.0	0.0
基本的な生活習慣（衣類の着脱、手洗いなど）の自立に向けての取り組みについては	40.5	31.0	9.5	9.5	9.5	0.0
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	40.5	42.9	7.1	4.8	4.8	0.0
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	28.6	28.6	11.9	14.3	16.7	0.0
お子さんの体調への気配りについては	50.0	38.1	9.5	2.4	0.0	0.0
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	33.3	38.1	9.5	11.9	7.1	0.0



問5 快適さや安全対策などについて

(%)

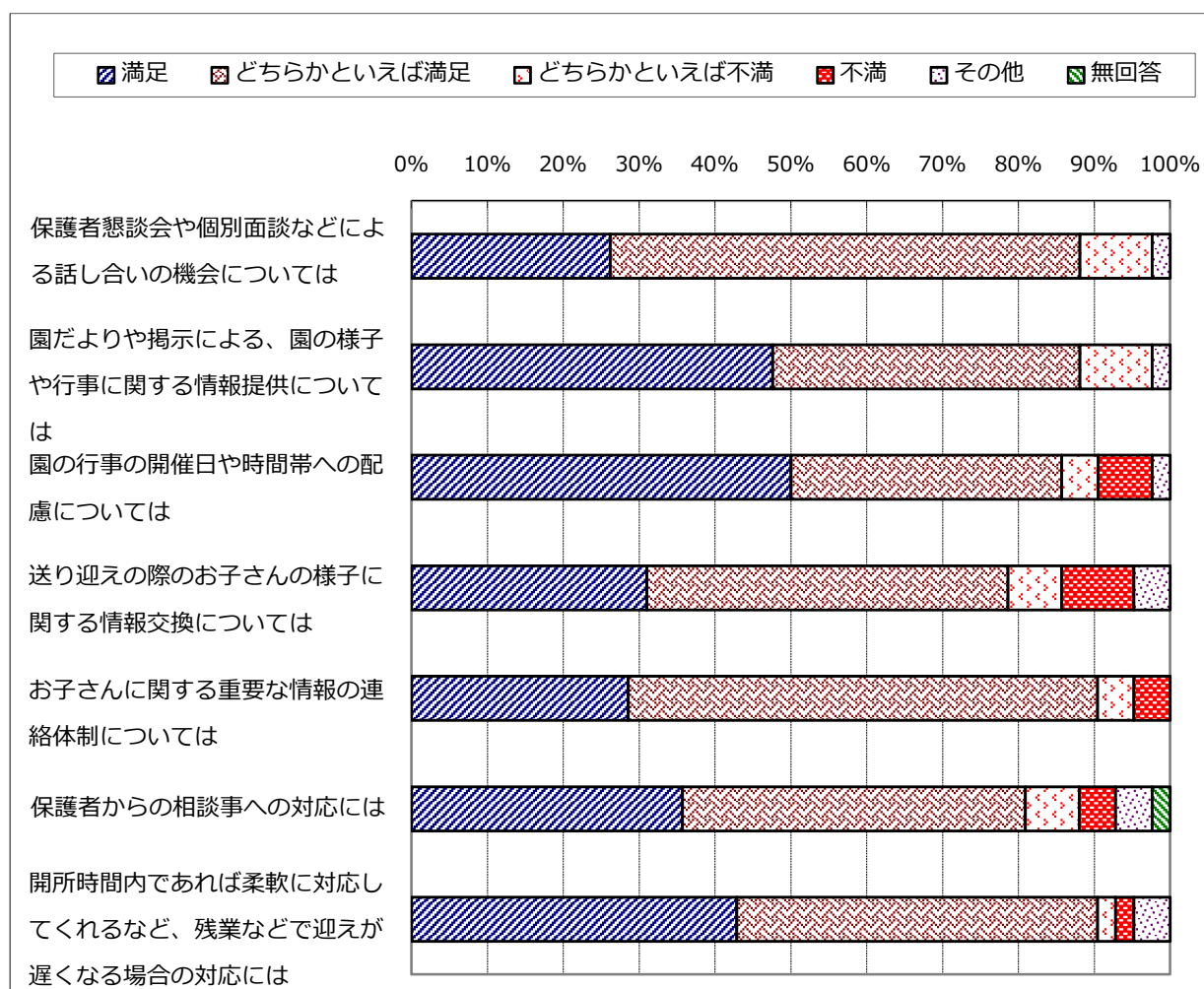
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
施設設備については	45.2	40.5	4.8	2.4	7.1	0.0
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては	57.1	35.7	4.8	2.4	0.0	0.0
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	26.2	42.9	19.0	2.4	9.5	0.0
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	42.9	40.5	11.9	4.8	0.0	0.0



問6 園と保護者との連携・交流について

(%)

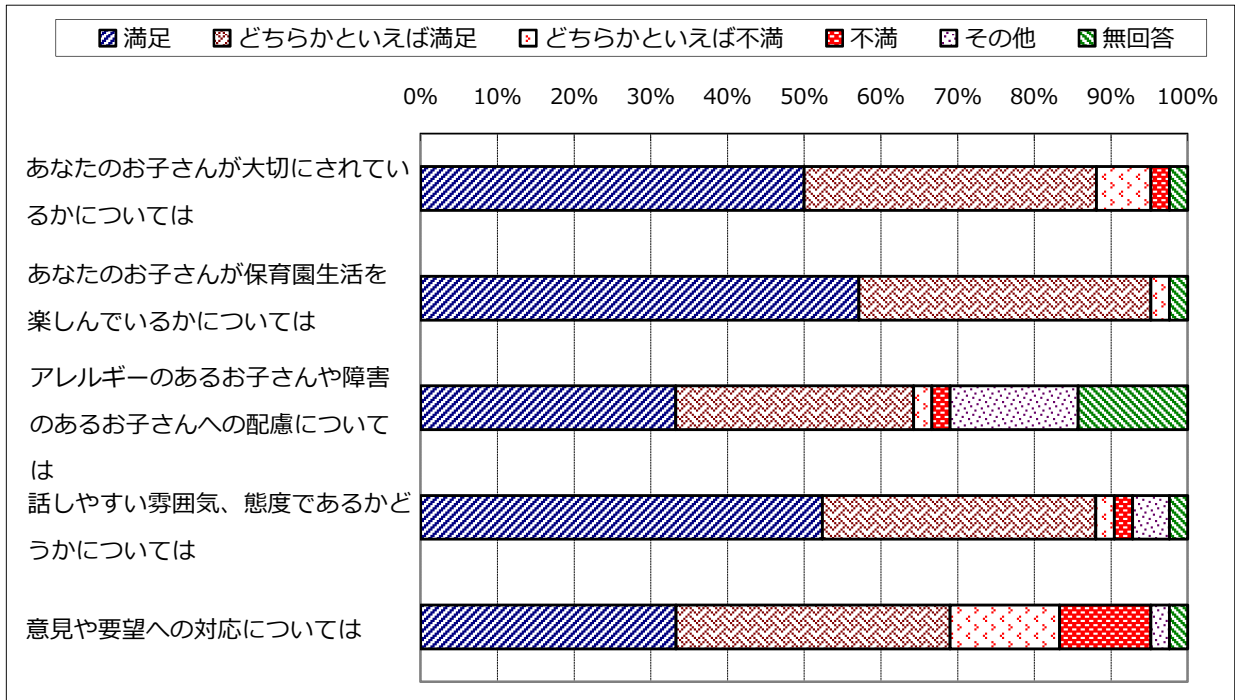
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	26.2	61.9	9.5	0.0	2.4	0.0
園だよりや掲示による、園の様子や行事に関する情報提供については	47.6	40.5	9.5	0.0	2.4	0.0
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	50.0	35.7	4.8	7.1	2.4	0.0
送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換については	31.0	47.6	7.1	9.5	4.8	0.0
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	28.6	61.9	4.8	4.8	0.0	0.0
保護者からの相談事への対応には	35.7	45.2	7.1	4.8	4.8	2.4
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	42.9	47.6	2.4	2.4	4.8	0.0



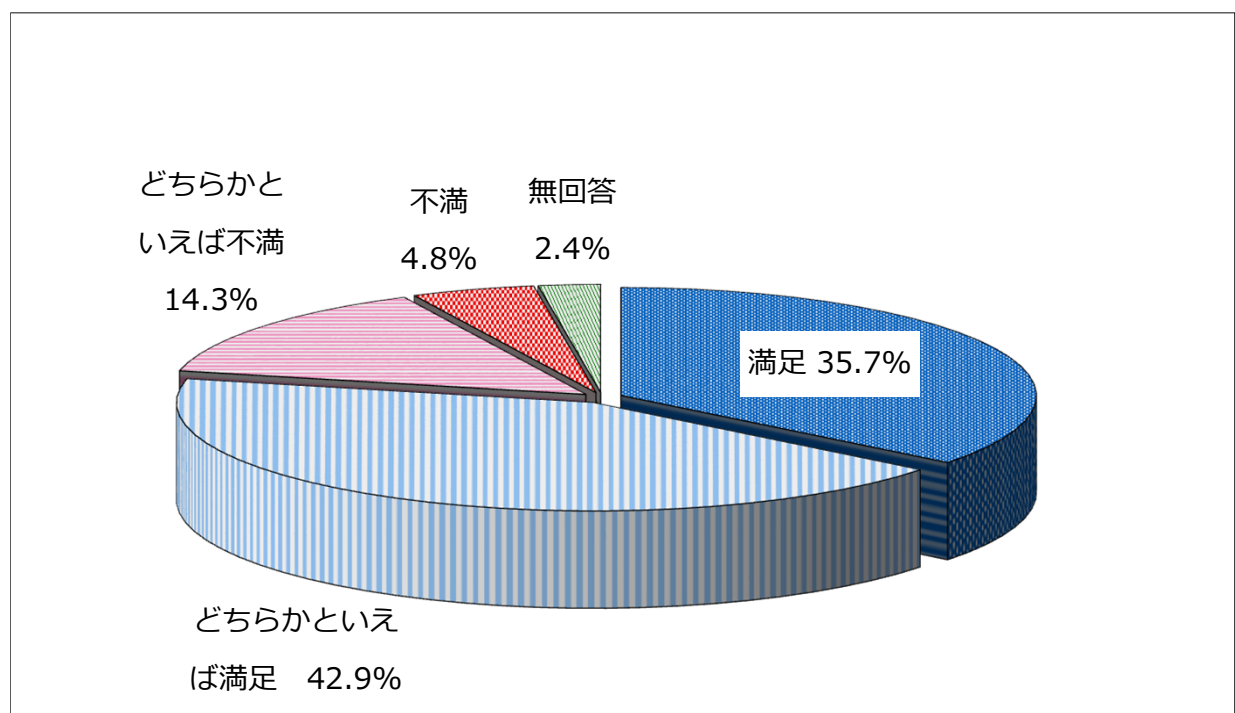
問7 職員の対応について

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
あなたのお子さんが大切にされているかについては	50.0	38.1	7.1	2.4	0.0	2.4
あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては	57.1	38.1	2.4	0.0	0.0	2.4
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	33.3	31.0	2.4	2.4	16.7	14.3
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	52.4	35.7	2.4	2.4	4.8	2.4
意見や要望への対応については	33.3	35.7	14.3	11.9	2.4	2.4



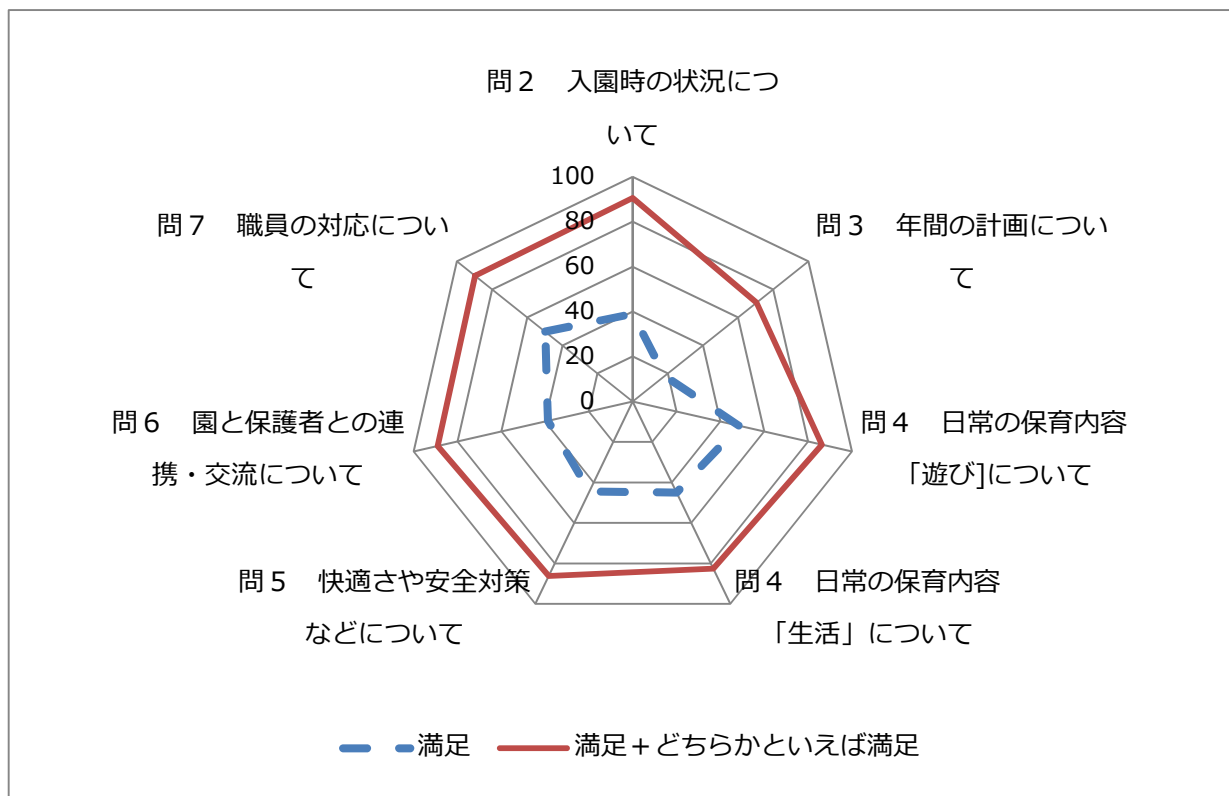
問8 保育園を総合的に評価すると



【参考資料1：中項目別平均満足度割合】

(%)

中項目	満足	満足+どちらかといえば満足
問2 入園時の状況について	39.0	90.6
問3 年間の計画について	18.3	70.5
問4 日常の保育内容「遊び」について	48.6	86.4
問4 日常の保育内容「生活」について	44.9	82.7
問5 快適さや安全対策などについて	44.4	86.2
問6 園と保護者との連携・交流について	38.8	89.1
問7 職員の対応について	49.9	89.7



※各中項目は、2～7つの小項目によって構成されており、各小項目の満足度割合から平均値を算出した。

※ここでの「満足度割合」は「その他」「無回答」を除外して計算してある。

【参考資料2：総合的な評価と相関が深い項目（相関分析）】

設問項目	相関係数
問6：保護者からの相談事への対応には	.765
問7：あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては	.696
問4：遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	.693
問6：送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換については	.693
問7：話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	.689

※データ分析上は、上記の項目で「満足」と答えた人は、問8「総合的な評価」においても「満足」と回答した率が高い。（逆に「不満」と答えた人は、問8においても「不満」と回答した率が高い）

※上記の項目の満足度を高めることが、総合的な満足度の向上にもつながる可能性が高い。

利用者（園児）本人調査の結果概要

実施日：12月9日（水曜日）・10日（木曜日）

実施方法：観察調査を調査員が各クラスで実施し、戸外・園外での活動も観察した。

幼児を中心に、観察調査や昼食で同席した際に、会話の中で適宜聞き取りを実施した。

●0歳児クラス

観察日は天気も良く、近くの北公園まで散歩です。保育園玄関前で園長先生の人数確認と見送りを受け、元気に「行ってきま〜す」と挨拶します。散歩にはバギーに乗る子どもと保育士と手をつなぎ歩く子どもがいます。公園に着くまで保育士は子どもたちにいろいろと話しかけています。

公園に着いたら保育士による安全確認です。子どもたちは待ちきれない様子でそわそわしながら待っています。安全確認が終わると「お待たせしました」の言葉をかけながら、子どもたちを順にバギーから降ろしていきます。子どもたちは四方八方に好きな場所へと向かっていきます。葉っぱを集める子ども、ドングリを集める子ども、走り回る子ども、座って土の感触を楽しむ子ども、みんな、0歳児クラスとは思えないような走りや歩きで動き回り公園での外遊びを楽しんでいます。

散歩から帰ってくると、ズボンやシャツの汚れている子どもは着替えをします。きれいになって給食を待っています。待っている間は保育士の読み聞かせです。子どもたちは保育士の絵本を読んでいる場面に合わせて答えたり、手をたたいたり、体を動かしたりして、楽しそうに話を聞いています。

食事はアレルギーのある子どもや月齢の低い子どもの順に始まります。抱っこで食べさせてもらったり、ちゃんといすに座って上手にスプーンを使ったりして、おいしそうに食べています。保育士は子ども一人一人の状態に合わせて「アムアムゴクン」などとやさしく声かけをしたり、皿の中のおかずをまとめたりと子どもが自分で食べることができるような支援を行っています。

●1歳児クラス

北公園への散歩から戻ってきた後は、保育室で自由遊びの時間です。保育室には、人形、ままごとセット、ブロック、電車などがあり、子どもたちは自分が使いたいものを自由に取り出して遊ぶことができます。子どもたちは、保育士に頼んで人形をおんぶさせてもらったり、キッチンセットで料理をしたり、ブロックで作ったロボットを保育士に自慢したり、電車のおもちゃを教室中に走らせたりして遊んでいます。子どもたちは、自分のやりたい遊びを自分のペースでできるので満足そうです。遊んでいる電車を巡って「勝手にとらないで！」などとトラブルになったときには、すかさず保育士が間に入り、双方の言い分をよく聞いてお互いが納得するまでなだめます。その後、二人は仲直りし、また一緒に遊び始めました。

一時間ほど遊んだあと、昼食の準備が始まります。子どもたちはテーブルにつき、担任の保育士が紙芝居を始めます。子どもたちは紙芝居に夢中で、聞き入っています。紙芝居が終わるころには、他の保育士が行っていた配膳も終わります。子どもたちはテーブルごとにワゴンへ料理をとりに行きます。一回取りに行くごとに一つの料理（一つの皿）を受け取り、自分の席に上手に持ち帰ります。テーブルごとに取りに行く「お約束」なので、自分のテーブルが呼ばれるまで行儀よく座って待っています。すべての料理がテーブルに並び、と、「いただきます」のあいさつのち食べ始めます。ほとんどの子どもがスプーンを上手に使って自分食べることができます。まだ上手に食べられない子どもは、保育士がそばで手伝っています。子どもたちは自分のペースで、おいしそうに食べていました。

●2 歳児クラス

散歩には、自分たちで糊づけをした「お散歩バック」を持って出かけます。バックには保育士により、子ども一人一人のシンボルマークが描かれていて、保育士が「パイナップルのお友達は」のようにマークの名前を言うと、子どもたちが「〇〇ちゃん」と名前を言います。住宅街を歩くときは静かに歩くことを「お約束」にしています。大通りに出るとおしゃべりが一斉に始まり、保育士もこやかに答えています。歌を歌う子どももいて、保育士が「上手だね」と褒める和やかな散歩風景となります。道を渡るときには「右、左、右」と見て、子ども達に「車が来ますか」と問いかけ「きません」という声を聞いて渡ります。渡るたびに丁寧に繰り返し、子どもに交通安全を指導しています。マンションの管理人と話したり、ゴミ収集車の人に手を振ってもらったり、子どもたちは地域の人たちからも見守られています。

公園に着くとまず体操をした後、持ってきたバックを首からぶら下げて、落ち葉やドングリを拾います。葉っぱをぎっしり袋に詰める子ども、ドングリにこだわり同じ大きさのドングリだけを集める子ども、色を選んで葉っぱを拾う子ども、ただ駆け回るだけの子どもとそれぞれですが、みんな落ち葉の上を歩く感触を楽しんでいます。落ち葉のシャワーをかけあっている子どももいます。保育士が終わりの合図として「よいドン」と言い、運動会の音楽で広場に誘います。広場では、しっぽ取りゲームをします。しっぽを配るときに、保育士が「何に変身する？」と問いかけると、子どもたちは「怪獣」「ライオン」「ウサギさん」「キツネ」「ぞうさん」などと答えます。みんなそれぞれになりきって元気いっぱい駆けまわって楽しんでいます。

●3 歳児クラス

観察日は高齢者施設への訪問日でした。子どもたちは、きちんと列を作って並んで歩いて行きます。保育士も子どもたちも地域の人とあいさつを積極的に交わしています。サンタクロースが飾ってある庭を見学しながら、おしゃべりをして少し気持ちを落ち着けてから中に入ります。

お年寄りがうれしそうに「かわいいね」「いくつ?」「こんにちは」と声をかけてくれると、子どもたちも照れくさそうにニコニコ笑いかけます。音楽の準備ができるまでの間、子どもたちが20まで数を数えると、お年寄りからまた「すごーい」「天才だよ」と声がかかります。少し興奮してふざけてしまう子どももいます。音楽がかかってダンスを数曲披露します。最初は恥ずかしそうな子どもたちも、一つずつ褒めてもらっているうち、だんだん元気になって、普段のように踊ります。お年寄りは喜んで、本当に細かなことまで褒めてくれます。保育士が持ってきた風船を使って、お年寄りとお年寄り遊びをします。子どもがお年寄りに向かって風船を投げるとお年寄りが返してくれます。欲しい色や柄の風船が飛んでくると抱え込んでしまう子どももいますが、お年寄りに喜んでもらうとまた投げます。次はお年寄りから歌のプレゼントです。「幸せなら手を叩こう」では、子どもたちも元気に手をたたいたり足を鳴らしたりをしていました。

●4 歳児クラス

幼児クラスの子どもたちは登園すると自分のクラスでバッグなどを片付けた後、園庭に出ます。朝は園庭での自由遊びから始まります。砂場でままごとをしたり、友達と追いかけてこや鬼ごっこをしたりして、のびのびと元気に遊んでいます。フェンスの外を登園してくる友達や保育士に声をかけている子どももいます。幼児クラスのみんなで体操が始まりました。みんな一様に音楽に合わせて楽しそうに体を動かし始めます。みんなで踊った後は4歳の子どもたちの出番です。保育士から呼ばれてみんなの前に並びます。子どもたちは、最初は照れくさそうですが、曲が進むにつれてうれしそうに踊りだします。みんなそろって踊ります。それを見ていた3歳児、5歳児も一緒に踊り始めます。散歩のために出てきた2歳児も後ろから、お兄さんお姉さんの動きを見て体をゆすったり手を動かしたりと、一緒になって体を動かし参加しています。前で踊っている4歳児たちはますます得意げに踊っていました。

体操が終わると並んで教室に戻り、うがい、手洗いを自主的にします。終わった子どもから自分の席に座り、みんなそろって朝のあいさつ、読み聞かせが始まります。子どもたちは本の内容に集中し、食い入るように本と先生を見えています。読み終わった後は、本の内容についての先生からの質問タイムです。子どもたちは先生からの質問に、元気よく手をあげて答えていました。

●5 歳児クラス

観察日は他園との年長交流の日でした。少し遠くの西公園まで水筒を持って、歩いて行きます。住宅地では大きな声を出さないよう、信号はみんなが渡れるようゆとりを持って待つなど、その時々々の注意事項を守りながら歩いて行きます。途中のガソリンスタンドの店員や、向かいを歩いている他園の保育士と園児に大きな声であいさつしています。子どもたちは公園に行く道すがらいろいろなものに興味を示します。ヤツデ、木になっている実など、さまざまな話しかけや問いかけに、保育士は丁寧に答えています。

西公園に着くと他園（4園）の子どもたちがすでに到着していました。子どもたちはこれまでの元気とは異なり、何となく保育士の側にくっついたり、他園の子どもたちを眺めたりしています。保育リーダーの指示で地域の同じ小学校に行く子ども同士のグループを作ります。心細そうにして保育士の顔を見たり、離れづらそうにしていますが、それぞれの小学校のグループに分かれます。見慣れない他園の子どもや保育士に不安そうですが、がんばって柔軟体操や氷鬼に参加しています。待ち時間になるとやはり慣れ親しんだ保育士の周りに何となくみんなが集まってきています。

年長交流が終わると、そのまま西公園の丘陵地部分で思う存分遊びです。これまでとは違い、斜面を走り下りたり、ドングリを集めたり、枯れ枝を杖にして走り回ったりといつもの元気が戻ってきました。

事業者コメント

開園三年目を迎え、第三者評価を受審することになりました。

1,2年目の若い職員が多い中で、第三者評価とは？からスタート。

自分たちのやっている保育を自然な形で振り返る中で、職員は多くの気付きがありました。

私たちの園は人格形成の根っこの中の根っこをつくる時期の子どもたちを預かり、保育する施設。

そこで

1. こどもに愛情を沢山かける
2. こどもに失礼な対応をしない
3. 園内、外の環境整備
4. 地域とのかかわり、地域育児支援
5. 職員の人材育成 等に

力を入れてきました。

これらに対し委員の方から高い評価を受けたことは職員全員の自信となり、今後の意欲につながっていくと思います。

今後の課題も整理することができました。

これからも職員一丸となり、積み重ねてきたことを大切に、今まで以上の良い保育をしていきます。

併せて、こども達にとって何が最善の利益になるのかを日々研修していきたいと考えています。

最後になりましたがお忙しい中、保護者の皆様からのアンケートをいただきましたことを深く感謝しております。

(職員一同)



-評価で次のステージへ-
since 2012

合同会社 評価市民・ネクスト

〒231-0003 横浜市中区北仲通 3-33 関内フューチャーセンター153

Tel: 050-3786-7048 Fax: 045-330-6048

URL: <http://www.hyouka-next.jp>